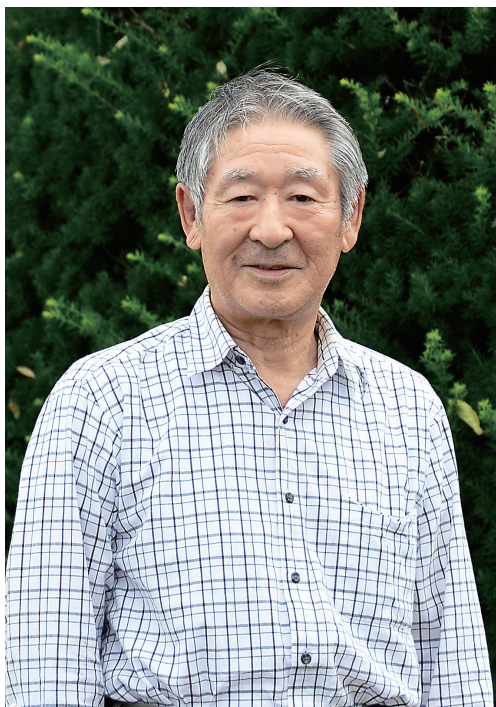


組織一丸となって市民の安全確保に努めたい

市猟友会 会長

井上 勉 さん

イノウエ・ツトム 76歳
|| 大石平 ||



昭和11年生まれ。旧3町村の猟友会が合併して設立された市猟友会の会長に就任。旧西根町の町議会議員などにも歴任し、八幡平市の初代議長を務めた。血液型B型のいて座

「組織の拡大を目指し、

これまでの経験を生かしながら、市民の皆さんを有害鳥獣の被害から守る活動を強化していきたい」と、抱負を語るのは、誕生したばかりの市猟友会の井上勉会長。会員の減少と高齢化が進んでいた旧3町村の猟友会が7月1日に合併し、7月28日には、市猟友会が新たに設立されました。

井上さんが旧西根町猟友会に入会したのは、昭和41年。「地区の仲間たちに誘われて入りました。免許もその時に取得したんですよ」と、当時を振り返ります。狩猟の魅力を伺うと、「仲間づくり。そして、その仲間たちとの交流が一番の魅力」と、自然に笑みがこぼれます。

最近の猟友会の活動を伺うと、「会員の減少に反比



設立総会で議決された市猟友会の役員の皆さん(7月28日、松尾地区公民館)

例しているかのように、クマの目撃情報や有害鳥獣駆除の依頼が増えています。昔に比べ、山の餌が減り、自然環境が変わってきているためかもしれません」と、井上会長。「それだけに、会員の技術向上と増員が不可欠なんです」と、語ります。井上会長は、「研修なども開かれていますし、何より経験豊富な先輩がいます。若い人たちに興味を持ってもらい、会員を増やし、活動のすそ野を広げていきたいと思えます」と、市猟友会の発展を誓いました。

今月の表紙 みんな、私につかまって！

市子どもフェスティバルが7月6日、アリーナまつおで開かれました。当日は、小・中学生ら92人が参加。4つの種目で得点を競いながら、友達との楽しい時間を過ごしました。台の上にどれだけ一緒に立ってられるかを競う「心身一体立ち」では、中学生が、後輩を支える頼もしい一面を見せていました。



追っかけ玉入れでは、子どもたちが陣地内を走り回りました

編集後記

7月末は、あまりすっきりとしない天気で、朝から雨が降っていても、傘を持ち歩く日が続きました。天気と言えは、必ず晴れになる催しがあるとか。横間虫追い祭りもそのひとつらしく、取材に行くまでは雨が降っていたのに、現場では雲が見えるだけ。しかも、例年より約2週間開催をずらしたのにも関わらずです。不思議なものです。(佐々木)